

□議員名：恒松 恵子

1 本山線の現状と課題について

論点	長門本山駅の現状について問う。
回答	長門本山駅は年間 9,483 人の利用があり、小野田線の沿線駅のうち 5 番目に乗車人数が多い。課題としてはこの路線を維持していくことで J R 小野田線利用促進協議会を設け乗車券や定期券の購入補助等を実施している。

論点	長門本山駅について生活交通の利用だけでなく、観光拠点として誘客する取組みは考えられないか。
回答	長門本山駅だけに着目した観光周遊での利用促進は難しい。今年度観光プロモーション調査事業を行う中に焼野海岸一帯も含まれているため観光への利活用について検討していく。

2 雀田駅の環境整備計画について

論点	雀田駅の駅舎整備を市内の青年経済団体が計画しているが、その後の維持管理について市はどう考えているか。
回答	駅舎について簡単な修繕は J R が行う。他は J R と協議しながら維持管理を進めていく。屋根付駐輪場の整備についても検討する。

論点	環境整備に関連して大学生のための安心・安全対策協議会が発足したが、一番多かった意見はどのようなものか。
回答	防犯に対する意見が一番多かった。次いで大学の周りに活気を求める意見、交通の便という 3 点が主なものである。理科大までの街路灯設置は順次進めており、交通ダイヤ改善についても J R に伝えている。

3 児童生徒の健全育成および安全対策について

論点	全国では考えられない事件や事故、災害が登下校時に起こっているが、本市における児童生徒の安全対策はどうか。
回答	通学路については関係機関と協議し、毎年点検して見直しを行いホームページで公開している。犯罪や災害などの緊急時における登下校については重大性、緊急性、発生時刻や発生地域によってレベル

	を決めて対応し、緊急メールや電話で家族に連絡することになる。
--	--------------------------------

論点	学校からの情報発信の一環として保護者がメールを利用登録しているが、確認はどのように行っているのか。
回答	外部から教育委員会に入った情報を各学校にメールで送り、電話で確認している。学校からは必要に応じて保護者宛にメールで情報発信するが現在開封確認はできていない。緊急時には電話を使って連絡が取れるまで繰り返すことになっている。

論点	新年度を迎えたが、最新のいじめ対策について問う。
回答	教育委員会で平成26年4月に山陽小野田市いじめ防止基本方針を策定し、児童相談所をはじめ市の人権や福祉を所管する課とも連携し、各学校では小さな変化を見逃さないよういじめの早期発見に努めている。

論点	いじめの起こりやすい時期はあるのか。それに対する対策についてはどうか。
回答	4月当初は新しい人間関係が始まるのでトラブルが生まれやすい。また梅雨時期は室内で過ごすことが多くなり雰囲気乱れることもある。しかし人間関係がある以上、いつでも起こりうると認識して教職員は対応している。

論点	学校における道徳教育や人権教育の取組みはどうか。
回答	道徳も含め人権教育は学校教育課程全体で取り組み、児童生徒を見守り注意を図りながら育んでいる。

論点	中学校における部活指導に対する考えはどうか。
回答	保護者と顧問で問題がないわけではないと認識しているが、教員は一生懸命取り組んでいる。

論点	外部の部活指導者の現状はどうか。また競技以外の教育的な側面か
----	--------------------------------

	ら研修などは行っているのか。
回答	市内の中学校には山口県中学校体育連盟に登録されたボランティアが指導を行っているところがある。その他、保護者や卒業生などが支援に入ることもあるが、教育委員会として特に研修は行っていない。